



2020年4月8日

各 位

会社名 小津産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 今枝 英治
(コード番号 7487 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 稲葉 敏和
TEL 03-3661-9400

新型コロナウイルス感染症の影響に関するお知らせ

この度の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に罹患された皆さまおよび、感染拡大により困難な生活環境におられる皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは、社会やお客さまからの要請にできるだけ応えとともに、事業への影響を最小限に抑えるべく、情報収集に努め、必要な対策を迅速に行っています。

現時点での当社グループにおける新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響について、以下のとおりお知らせします。

1. 事業運営

当社グループは、従業員の感染防止の観点から時差出勤および、在宅勤務の実施を行っております。また、会議や出張の見直し、衛生啓発等に取り組んでおります。

引き続き、当社従業員の感染リスクの軽減と安全確保を図り、円滑な事業活動を継続するため、速やかな情報収集と、状況に応じた必要な対策を迅速に実施してまいります。

2. 業績への影響

家庭紙・日用雑貨事業を営むアズフィット株式会社において、年明けからマスクの販売が増加いたしました。現在も昨年対比マスクの販売は増加していますが、決算期が2月のため、2020年3月以降の販売に関する業績への影響は、連結年度で2021年5月期の業績予想に織り込まれます。

株式会社ディプロにおいては主力製品である除菌ウェット製品の販売が増加いたしました。同社の決算期は3月のため、2020年4月以降の販売に関する業績への影響は、連結年度で2021年5月期の業績予想に織り込まれます。

当社のメディカル分野では、ガーゼ用途の不織布や除菌関連のウェット製品の販売が増加傾向にあり、この傾向は4月にかけてピークになると予測していますが、感染拡大が収まらなければその後も続くものと思われれます。

一方で当社の主力であるエレクトロニクス分野では、海外において稼働を一時停止する工場が一部にみられます。また、消費国の欧米の状況如何により、今後更なる稼働率低下を招く可能性があります。海外での工場稼働率低下の影響が日本国内に波及しはじめており、感染拡大が収まらなければ今後の業績が下振れするリスクがあります。

また、コスメティック分野では、訪日客の減少による店頭販売や空港内免税店での販売不振の影響がみられます。

今後、新型コロナウイルスの感染拡大により、今回発表した業績に大きな影響が生じた場合は改めてお知らせいたします。

以上